

連携だより

2014年
4月
Vol.01



目次

名称変更について	1	理念と基本方針	2・3
理事長あいさつ	2	地域医療機能推進機構に生まれ変わる病院	3
院長あいさつ	2	地域医療連携センター長あいさつ／連携室案内	4

平成26年4月

「社会保険 群馬中央総合病院」は、組織変更により

「独立行政法人

地域医療機能推進機構 群馬中央病院」

へと名称を変更します。



法人の名称	独立行政法人 地域医療機能推進機構
代表者	理事長 尾身 茂
住所	東京都港区高輪3丁目22番12号
病院の名称	独立行政法人地域医療機能推進機構 群馬中央病院 (旧社会保険群馬中央総合病院) 群馬中央病院附属介護老人保健施設 (旧群馬社会保険介護老人保健施設)
代表者	院長 田代 雅彦
住所	群馬県前橋市紅雲町 1丁目7番13号
移行年月日	平成26年4月1日

HISTORY

沿革

昭和25年	4月	前橋厚生病院を買収し、社会保険群馬中央病院として発足
昭和32年	12月	総合病院の承認。社会保険群馬中央総合病院と改称
昭和33年	9月	全国社会保険協会連合会に経営を移管
平成9年	4月	現在の新病院の工事完了
平成10年	5月	介護老人保健施設「サンビューぐんま」開設
平成21年	4月	健康管理センター開設
平成23年	1月	日本医療機能評価機構による施設認定 (Ver.6.0)
平成23年	3月	群馬県がん診療連携推進病院指定地域医療支援病院承認
平成24年	4月	災害拠点病院 (地域災害医療センター) 指定 人間ドック・健診施設機能評価認定 (Ver.2.0)
平成26年	4月	独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院と改称 独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院附属 介護老人保健施設と改称

ごあいさつ

独立行政法人 地域医療機能推進機構

理事長 尾身 茂



全国57の社会保険病院、厚生年金病院、船員保険病院は、それぞれの病院の特色を踏まえ地域医療に貢献してまいりましたが、平成26年4月『独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO・ジェイコー）』の病院として新たに生まれ変わりました。

JCHOは、各病院が行ってきたこれまでの実績を十分に活かし、地域の方々の多様なニーズに応えるため、全国規模の病院グループとして「急性期医療～回復期リハビリ～介護」を含むシームレスなサービスを提供し、地域医療・地域包括ケアの確保に取り組み、その活動の

要となる医療人育成にも力を入れてまいります。

JCHOの各病院・介護老人保健施設等は、地元の医療・介護関係諸機関との連携を密にし、人々が安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります。

新機構（JCHO）の理念

地域医療、地域包括ケア連携の「要」として高齢化社会における
地域住民の多様なニーズに応え人々の生活を支える。

ごあいさつ

独立行政法人 地域医療機能推進機構
群馬中央病院

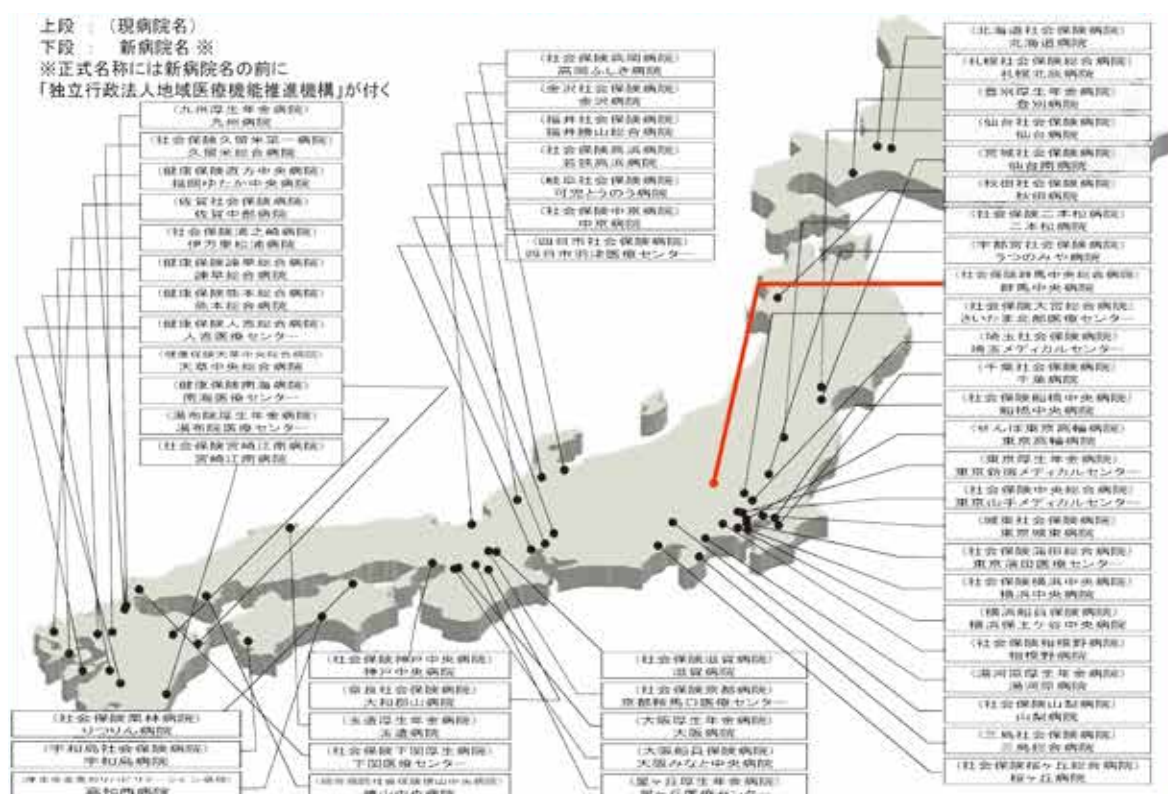
院長 田代 雅彦



いよいよ4月1日から、新しい独立行政法人である地域医療機能推進機構の一員、群馬中央病院として生まれ変わります。全国に57ある病院群の1つとなり、さらにパワーアップできるものと思っています。診療体制は大きく変わりません。今までどおり、当院は地域の中核病院として急性期医療の一翼を担っていきます。また新たな命の誕生をサポートする産婦人科、小児科の充実、消化器を中心とした外科、脊椎、下肢の疾患を専門とする整形外科など各科の特徴も生かしていきます。当院は県内有数の健診センターを持ち予防医学にも力を入れています。また、認知棟を持つ介護老人保健施設も併設されており、介護

にも力を入れます。このように、赤ちゃんから高齢者まで、健診から医療・介護まで幅広い分野での地域のニーズに応えていきます。新機構の使命は、今後の地域の多様なニーズに応えることですから、まさしく当院の置かれている位置と重なるものと考えています。そうは言っても地域のニーズは刻々と変化してくるものです。皆様方からの要望をすばやく形に変えていくことが当院にも求められていると思います。職員一同ミッションの達成に向け努力していく所存です。また、そのためには今まで以上の地域連携が必要になります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(病院名は平成26年4月に新名称に変更予定)



4つの心

人権尊重の心	人間愛の心
奉仕の心	向上心

- 人権の尊重と人間愛を基本とした医療・介護を行い、地域の方々の健康と福祉増進に寄与する。
- 地域医療・地域包括ケア・介護の連携の要として、超高齢化社会における多様なニーズに応え、安全・安心・信頼を要とした医療と介護を提供する。
- 地域の医療・福祉機関との連携を密にし、地域医療における中核病院としての使命と役割を担う。
- 透明性が高く自立的な運営のもと、常に医療・介護水準の向上に努める。

1. がん及び生活習慣病を中心とした疾病の予防・早期発見
2. 健康保持増進のための適切な指導
3. 受診者の安心・信頼・満足
4. 人権尊重とプライバシーの保護

1. がん及び生活習慣病を中心とした疾病の予防・早期発見を目指す。
2. 医療技術の向上に努め、信頼され安心して快適な健診を提供する。
3. 地域の方々の健康管理と福祉に寄与することを目指す。
4. 受診者の人権と知る権利を尊重するとともに、プライバシーの保護に努める。

ごあいさつ



地域医療連携センター長

内 藤 浩

地域医療連携センター長の内藤です。わたくしたちの病院は、4月より「独立行政法人地域医療機能推進機構 群馬中央病院」に移行いたしました。名称にある通り、地域医療の中心であることが新機構全国57病院に課せられた使命となります。

一方、厚生労働省は、今後の超高齢化社会をのりきるために、地域包括ケアの大切さを強調しています。患者さんを中心に、かかりつけ医、病院、各種医療・福祉施設、行政等が緊密に連携して地域医療を守れという明確な指針が示され、今回の診療報酬改定等にその意思の強さがあらわれています。

地域医療連携センターは、新機構の使命を果たし、また地域包括ケアを通して地域医療を守るための中心的役割が求められています。これまでの、「ご紹介窓口」、「退院調整」、「医療福祉相談」等の機能に加え、地域全体として患者さん、ご老人を支えていく仕組みを、かかりつけ医の先生方や行政と一緒に構築していくことが、当センターの今後の目標であり使命です。登録医の先生がたにおかれましては、より良い地域医療を展開できるよう、今後も忌憚ないご意見をお寄せいただき、当センターの運営にご協力いただければ幸いに存じます。

地域医療連携室

市民健康医学講座

平成25年度、第2回市民健康医学講座を開催いたしました。

■講演1

「早期大腸がんの診断と治療」

消化器医長 岸 遼 忠

■講演2

「進行大腸がんの治療」

外科主任部長 内 藤 浩

当日参加人数 122名



2月の記録的な大雪の後、除雪しきれない雪が多く残る中、たくさんの方に足を運んで頂きました。講演1では、最新の内視鏡器具の説明や、診断方法・大腸のしくみ、そして早期発見と大腸内視鏡検査の大切さを、講演2では、腹腔鏡下での実際の手術の画像も盛り込み、化学療法の有効性や、がん相談窓口の活用方法など、内容の濃い講演でした。

診察・検査の予約お問い合わせは
地域医療連携室へ

TEL.027-223-1373 (直通)

FAX.027-223-1374 (直通)

受付時間／ 8:30～18:00

独立行政法人地域医療機能推進機構
群馬中央病院

〒371-0025 前橋市紅雲町1丁目7番地13号
TEL.027-221-8165 FAX.027-224-1415

